

【件名】	善福寺川整備工事に伴う基本修正設計及び詳細設計（二枚橋から大宮橋）	【事務所名】	第三建設事務所
【施行場所】	東京都杉並区松ノ木二丁目地内から同区大宮一丁目地内まで	【受託者名】	ジーアンドエスエンジニアリング株式会社東京支社
【工期】	令和5年5月29日から令和6年3月18日まで	【主たる技術者名】	溝田 祐造

【委託概要】

- ・ 護岸基本修正設計（大松橋上流～大宮橋上流）L=500m
- ・ 護岸詳細設計（大松橋上流～宮木橋下流）L=200m
- ・ 河床詳細設計（二枚橋上下流） 一式

【表彰理由】

本委託の河床詳細設計においては、地元との調整により河床整備工事の令和5年度完了に向け発注が急がれていた。受託者は現場状況を的確に把握するとともに、迅速に図面・数量及び施工計画作成などを実施したことにより、年度内（令和6年2月）完了の河床整備工事を発注することができた。

また、護岸基本修正設計及び詳細設計においても現場条件を的確に把握し、迅速に計画立案、資料作成を行った。

①施工前

上流の改修境の断面変化の影響で土が堆積し、計画断面を確保できていない



②施工後

計画断面が確保でき、中央の低水路に流水が集まるようになった



【備考】

- ◇ 苦労した点
整備区間の検討にあたっては、現状把握、課題点抽出、しゅん功状況などを整理するとともに、地先住民からの要望にも配慮した対策工を立案すること。
- ◇ 特に工夫した点
早期発注、関係機関との協議に対応するため業務スケジュールを管理した。また、提案型の設計ができるよう心掛けた。
- ◇ 現場で得られたやりがいや達成感
業務スケジュールを把握し管理することで、円滑に関係機関との協議、住民説明、発注準備等に対応することができた。
- ◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと
i-Constructionを進める意味でも設計段階での現場状況把握と施工計画への反映はこれからの時代に必要な技術力である。施工ができなければ設計では無いことを忘れてはいけない。

③整備状況平面図

状況・課題点などを平図面に記載することで対策工の立案に役立てた

